

2023年度

世話人がつづるプレイパークでのあれこれ



# あしあと

## 子どもたちの「いいこと」

わたしが、うさぎ山に通うようになって14年。たくさん子どもたちの「いいことおもいついた!」から始まる遊びを見てきました。小さい子も、小学生も「いいことおもいついた」時はとてもキラキラいい顔をしています。

先日、うさぎ山まつりの中で6歳(年長さん)のMちゃんが「わたし、うらないができるよ!」と教えてくれて、その場にいた大人が数名占って欲しいと頼むと、金運と仕事運とラッキーカラーが占えます!とのことで、それぞれ占ってもらいました。

その後、カフェコーナーの準備をしていると

「そうだ!いいことおもいついた!コーヒーをかってくれたひとに、うらないをするうらないやさんをやってあげようか??」とMちゃんが提案してくれました。

え!素敵だね!やってくれる?とお願いすると一緒に遊んでいた小1のTくんが「じゃあ、ぼくが かんばんをかく!」と段ボールに『のみものお かってくれたら となりで うらないするよ!』とささっと書いてくれて、それをカフェコーナーの横に立ててくれました。カフェコーナーに誰かがやってくるたびに、ひとりひとり丁寧に占いをして「おしごとをがんばるとおかねがたくさんもらえます」「がんばるといいです」と大人も子どももみんな、可愛らしい占い師さんにニコニコ笑顔になっていました。

その様子を見て、Tくんも自分にも何かできることはないかな…と周りを見回して飲み物のおまけのチョコレートを渡す仕事を自分で見つけて「ぼくがわたすね!」と手伝ってくれました。こんな風に、子どもたちの「いいことおもいついた!」は面白い遊びになり、それを見ている子にも伝染することがあります。

時々思い付いた「いいこと」がうまく遊びにならないこともあります。その時はうまくいなくても、その次、さらにまたその次にうまく行って最初の「いいこと」よりもずっとおもしろい遊びになることもあります。何度もいいことを思い付いて、うまくいったりうまくいかなかったり、周りの人が面白がってくれたりして「いいこと」を形にしていく経験値が上がっていくんだろうな、と思います。

3月に、子どもたちが自分で考えて作ったものを売る子ども商店街をやります。

小学生以上の店長さん達を中心に毎回、雑貨屋さんやアクセサリー、折り紙屋さん、射的、くじ、迷路など色々なお店が並びます。普段の遊びの中で見つけた自分の得意なことや好きなこと、子どもたちの「いいこと」がたくさん詰まった商店街です。

子どもたちが思い付いたたくさん「いいこと」を応援しに来てください。そして、ぜひ、「すてきだね!」と伝えてください。本物のお金を使ってお店をやるので、「高すぎるよ」など厳しい意見もぜひ、伝えてくださいね。

きっと子どもたちの「いいこと」を形にする経験値をあげる手助けになると思います!

(世話人T)

サポーター費・プレイリーダー雇用基金のご協力  
ありがとうございました。  
16,000円でした。

片倉うさぎ山公園愛護会では、  
公園の掃除を、第2・4の日曜日に行なっています。  
どなたでも参加できます。  
ぜひ、親子でご参加ください。

2/11・25・3/10・24 9時~10時